

令和3年度
「学校評価」結果報告について

実施日：令和3年12月20日（月）

八戸学院野辺地西高等学校

1. データについて

「令和3年度評価 (%)」は、評価がそれぞれ総数の何%かを表しています。

2. 学校評価アンケート (生徒) …回収率99.0%

【評価】 ④：そう思う ③：どちらかといえばそう思う ②：あまりそう思わない ①：思わない

項目	No	評価項目	令和3年度評価 (%)			
			④	③	②	①
授業への取り組み	1)	前もって予習をして、授業に臨んでいる。	13.9	28.3	39.5	18.3
	2)	教科書やノート等を準備して、授業に臨んでいる。	69.6	22.4	5.8	2.2
	3)	先生の話をよく聞いて、落ち着いて授業に臨んでいる。	44.4	41.7	10.3	3.6
	4)	自ら積極的に授業に参加している。	39.9	39.9	15.7	4.5
	5)	ノートは工夫してとり、復習に役立てている。	32.7	41.3	17.5	8.5
	6)	疑問点は自ら調べたり、先生に質問している。	27.4	33.2	25.1	14.3
	7)	授業の目標やねらいを十分に理解している。	33.2	37.7	20.6	8.5
	8)	学んだことを忘れないように復習している。	20.2	34.1	33.2	12.5
生活全般	9)	校則やマナーを守って生活している。	68.2	25.6	4.5	1.7
	10)	学業と部活動が両立できている。	51.4	31.5	10.8	6.3
	11)	友人関係がうまくいっている。	72.3	20.6	4.9	2.2
	12)	学校生活が充実している。	59.6	28.3	7.6	4.5
授業に対する感想	13)	授業の説明が分かりやすい。	31.0	45.7	15.7	7.6
	14)	話し方が明瞭で聞き取りやすい。	29.1	48.9	15.7	6.3
	15)	板書や資料が見やすく、工夫されている。	33.7	48.4	12.1	5.8
	16)	質問に対して分かりやすく指導してくれる。	39.9	46.6	8.1	5.4
	17)	授業に対する熱意が先生から感じられる。	35.9	47.5	9.9	6.7
	18)	小テストや宿題で、より授業が理解できた。	30.5	36.8	23.8	8.9
	19)	授業を受けて、学力や技能の向上を実感している。	30.9	42.6	18.4	8.1

<結果の特徴>

全体としては、19項目中15項目で、プラス評価(そう思う、どちらかといえばそう思う)が70%以上を占めています。しかし、「授業への取り組み」の「1)前もって予習をして、授業に臨んでいる。」「8)学んだことを忘れないように復習している。」のプラス評価が50%前後と低いため、生徒の家庭での学習習慣の定着を図るとともに、生徒がより積極的に授業に取り組めるように、教員の指導力向上に努めていく必要があります。

3. 学校評価アンケート（保護者）…回収率98.6%

【評価】 ④：そう思う ③：どちらかといえばそう思う ②：あまりそう思わない ①：思わない

項目	No	評価項目	令和3年度評価（%）			
			④	③	②	①
教育活動	1)	八戸学院野辺地西高校の教育活動は、全般的に満足できる。	35.3	48.7	13.8	2.2
	2)	生徒は、目標を持って学校生活を送っている。	51.0	37.9	10.7	0.4
	3)	情報提供は適切であり、教育活動や学校行事などを知ることができる。	28.1	44.2	23.7	4.0
教科指導	4)	学力向上を目標に、きめ細かい指導が行なわれている。	25.9	49.1	22.3	2.7
	5)	各教科において、資格取得や専門的な技術の習得を奨励し、野辺地西高校としての特色が出ていると感じる。	32.8	45.7	20.2	1.3
	6)	内容のわかりやすい授業が多い。	26.4	51.4	20.5	1.7
	7)	授業の進むペースは適切である。	26.5	55.3	16.4	1.8
	8)	授業の教え方に工夫をしている先生が多い。	25.6	52.1	20.5	1.8
生徒指導	9)	校則は、適切に運用されている。	43.1	49.3	6.7	0.9
	10)	保護者の理解や協力のもと、適切な生徒指導が行なわれている。	40.1	49.1	9.9	0.9
	11)	生徒の悩みや相談には、細心の注意を払い、真摯に対応している。	38.3	47.3	13.1	1.3
進路指導	12)	生徒の進路志望の実現のため、進路指導によく取り組んでいる。	40.6	48.4	10.5	0.5
	13)	進路の相談や情報提供は、適切に行なわれている。	38.8	47.0	14.2	0.0
	14)	三者面談は満足できるものであった。	42.9	41.8	11.7	3.6
学校生活	15)	日頃から日常生活のマナーや社会のルールについての指導が行なわれている。	41.6	47.1	10.4	0.9
	16)	生徒が学習しやすい環境や設備が整っている。	26.9	48.0	22.9	2.2
	17)	学校と保護者、地域との連携がきちんととれている。	26.5	54.7	15.7	3.1
	18)	教職員との連携やコミュニケーションがきちんととれている。	33.5	49.8	14.0	2.7
特別活動	19)	運動部および文化部の部活動は盛んである。	63.8	31.2	4.5	0.5
	20)	部活動は、学校生活を充実させるものになっている。	59.5	34.5	5.5	0.5
	21)	部活動において、保護者との連携や調整はうまくいっており、理解されている。	48.2	39.1	11.4	1.3
その他	22)	健康管理が行き届き、保健・安全面で安心して学校生活を送れるような配慮がなされている。	43.1	49.3	6.3	1.3
	23)	緊急時の対応について、保護者に十分な説明をしている。	41.0	45.5	12.2	1.3
	24)	プライバシーを侵すことのないように配慮している。	39.4	47.5	11.3	1.8
	25)	本校の教職員（事務を含む）の服装、言葉使い、対応等はきちんとしている。	51.4	41.0	7.2	0.4

<結果の特徴>

25項目すべてで、プラス評価(そう思う、どちらかといえばそう思う)が70%以上を占め、概ね高い評価を得ております。昨年度と比較しましても、低下している項目はありませんでした。さらに保護者の皆様から信頼を得られるよう、教育活動の充実・発展に努力する必要があります。

【評価】 ④：そう思う ③：どちらかといえばそう思う ②：あまりそう思わない
①：思わない ①：判断できない

項目	No	評価項目	令和3年度評価 (%)				
			④	③	②	①	①
特別活動	19)	運動部および文化部の部活動は盛んである。	10.0	60.0	0.0	0.0	30.0
	20)	部活動は、学校生活を充実させるものになっている。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	21)	部活動において、保護者との連携や調整はうまくいっており、理解されている。	40.0	40.0	10.0	0.0	10.0
その他	22)	健康管理が行き届き、保健・安全面で安心して学校生活を送れるような配慮がなされている。	0.0	80.0	0.0	0.0	20.0
	23)	緊急時の対応について、保護者に十分な説明をしている。	10.0	50.0	10.0	0.0	30.0
	24)	学校ではいじめの防止について、しっかり取り組んでいる。	10.0	70.0	0.0	0.0	20.0
	25)	本校の教職員（事務を含む）の服装、言葉使い、対応等はきちんとしている。	40.0	40.0	0.0	0.0	20.0

<ご意見>

<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、学校へ訪問する機会がほとんどありませんでした。その為、答えられる範囲で回答いたしました。（回答多数） ・学校だより「八学野西トピックス」が野辺地町の家庭に回覧されて良かった。（2名回答） ・学校パンフレットはカラーで見やすくまとめられていて活動の様子が良くわかりました。 ・サッカー部の活躍は、新聞・テレビなどで拝見して応援しています。今後も頑張ってください。

<結果の特徴>

対象の学校関係者は、野辺地町教育委員会(教育長、教育委員)、外郭団体会長、学校評議員です。

今回、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の為、公開授業など多くの学校行事が中止または縮小となり、「①判断できない」を選択した項目が多くなった、というご意見を多数いただきました。

全体としては、25項目中22項目で、プラス評価(そう思う、どちらかといえばそう思う)が70%以上でした。

「3)情報提供は適切であり、教育活動や学校行事などを知ることができる。」がプラス評価が50%と低い評価でした。一方で「八学野西トピックス」や「学校パンフレット」への評価もいただいております。創刊4年目の「八学野西トピックス」の更なる内容の充実を図るとともに、「本校HP」を改善して、学校での生徒の様子をより早く伝えられるよう努力していく必要があります。

「4)学力向上を目標に、きめ細かい指導が行なわれている。」のプラス評価が50%と低い評価となりました。ベネッセコーポレーション担当者による「基礎力診断テストを活用した学習指導」、会津大学文化教育センターの荻間澤勇人教授による「hyper-QUの活用方法」等のこれまでの教員研修に加え、各教員の教科指導スキルの向上につながる教員研修を実施し、教員の質の向上を図ってまいります。

「23)緊急時の対応について、保護者に十分な説明をしている。」のプラス評価が60%と低い評価でした。緊急時に際しましては、HR担任から保護者の皆様へ細やかに直接電話等で連絡する対応をしておりますが、このことが外部へ認知されていないと思われます。緊急時の対応についても、学校HP等で外部へ周知していく必要があります。

5. 学校評価（教職員）…回収率100%

【評価】 ④：達成できた ③：ほぼ達成できた
②：あまり達成できなかった ①：達成できなかった ①：判断できない

項目	No	評価項目	令和3年度評価 (%)				
			④	③	②	①	①
教育活動	1)	八戸学院野辺地西高校の教育は、全般的に満足できる。	7.0	51.7	17.2	0.0	24.1
	2)	生徒は、意欲を持って楽しく学校生活を送っている。	16.7	66.7	8.3	8.3	0.0
	3)	情報提供は適切であり、教育活動や学校行事などを知ることができる。	16.7	75.0	8.3	0.0	0.0
教科指導	4)	学力向上を目標に、きめ細かい指導を行っている。	8.3	66.7	16.7	8.3	0.0
	5)	各教科において、資格取得や専門的な技術の習得を奨励し、野辺地西高校としての特色が出ていると感じる。	8.3	66.7	25.0	0.0	0.0
	6)	内容のわかりやすい授業をしている。	25.0	75.0	0.0	0.0	0.0
	7)	授業の進度は適切に行っている。	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0
	8)	授業で、生徒の興味関心を高める工夫をしている。	16.7	75.0	8.3	0.0	0.0
生徒指導	9)	校則は、適切に運用されている。	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0
	10)	保護者の理解や協力のもと、適切な生徒指導を行っている。	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0
	11)	生徒の悩み事の相談には、細心の注意を払い、真摯に対応している。	50.0	41.7	8.3	0.0	0.0
進路指導	12)	生徒の進路志望の実現のため、進路指導によく取り組んでいる。	25.0	58.3	16.7	0.0	0.0
	13)	進路の相談や情報提供は、適切に行っている。	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0
	14)	三者面談は満足できるものであった。	8.3	66.7	0.0	0.0	25.0
学校生活	15)	日頃から日常生活のマナーや社会のルールについての指導を行っている。	41.7	58.3	0.0	0.0	0.0
	16)	生徒が学習しやすい環境や設備が整っている。	8.4	25.0	58.3	8.3	0.0
	17)	学校と保護者、地域との連携がきちんととれている。	16.7	75.0	8.3	0.0	0.0
	18)	教職員との連携やコミュニケーションがきちんととれている。	8.3	75.0	16.7	0.0	0.0

【評価】 ④：達成できた ③：ほぼ達成できた
 ②：あまり達成できなかった ①：達成できなかった ①：判断できない

項目	No	評価項目	令和3年度評価 (%)				
			④	③	②	①	①
特別活動	19)	運動部および文化部の部活動は盛んである。	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0
	20)	部活動は、学校生活を充実させるものになっている。	41.7	50.0	8.3	0.0	0.0
	21)	部活動において、保護者との連携や調整はうまくいっており、理解されている。	41.7	50.0	0.0	0.0	8.3
その他	22)	健康管理が行き届き、保健・安全面で安心して学校生活を送れるような配慮がなされている。	16.7	66.7	16.6	0.0	0.0
	23)	緊急時の対応について、保護者に十分な説明をしている。	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0
	24)	学校ではいじめの防止について、しっかり取り組んでいる。	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
	25)	本校の教職員（事務を含む）の服装、言葉使い、対応等はきちんとしている。	25.0	66.7	8.3	0.0	0.0

<結果の特徴>

全体としては、25項目中23項目でプラス評価(達成できた、ほぼ達成できた)が70%以上となりました。

「1)八戸学院野辺地西高校の教育は、全般的に満足できる。」のプラス評価が58.7%と、保護者や外部評価委員よりも低い評価となりました。本校の教育をもっとより良いものにしていこうという強い気持ちの表れであり、自らを厳しく見つめなおし、教師としての職務を果たそうとする意識が高まっていると思われます。

「16)生徒が学習しやすい環境や設備が整っている。」のプラス評価が33.4%とかなり低い評価となりました。これまでも、コンピュータ室のPCの整備や体育館へのネットワークの延長等、生徒の学習環境を整備してまいりましたが、まだ不十分であると認識しております。これからも、生徒の学習環境の向上を図っていく必要があります。